

キミと、世界に会いにゆく

学研の図鑑
LIVE
ライブ

ご自由にお取り下さい

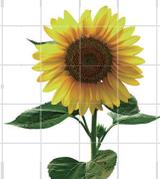
**TAKE
FREE**

“学び”が
どんどん
好きになる

図鑑で
かしこい
子に育つ

はじめての

図鑑の使い方 ガイドブック



Gakken

図鑑に親しむ家づくり

図鑑は、お子さんが未知の世界に出会う「世界への扉」。パラパラとめくるだけでも、そこには見たことがないものがあふれ、家にいながらお子さんの世界が広がるきっかけになるのです。図鑑を身近なものにするために、まずは日常的に図鑑に親しむ環境づくりから始めてみましょう。

脳医学者・瀧先生が「図鑑の使い方」もアドバイス！

図鑑はぜひ、お子さんの目に触れやすい場所に置いてみてください。人は、接触する回数が多いものほど好きになる傾向があります。さらに、図鑑は大人が見ても面白いもの。親が率先して図鑑に夢中になっていると、楽しい気持ち子どもに伝播して真似したくなるのです。親子で繰り返し触れることで図鑑が身近になりますよ。



瀧
たか
み
先生

東北大学スマート・エイジング学際重点研究センターセンター長／東北大学加齢医学研究所教授

ポイント①

図鑑はリビングに置いて日常生活の一部に



ポイント③

親も一緒に楽しむ

ポイント②

おもちゃの近くなど、「何気なく手に取れる」場所に

ポイントは、「図鑑を生活の一部にする」こと。お子さんが好きなおもちゃなどの近くに置いて、自ら手に取れる環境にできると良いでしょう。また、ぜひ親御さん自身も、積極的に図鑑を読んでみてください。「図鑑って面白い！」と親が楽しむ姿を見せることで、お子さんも一緒にのぞきたくなるはずです。

他にも…

テレビ台に 収納

テレビで見たものをすぐ調べられる！



寝室に置く

寝る前の読み聞かせに。



他にも、テレビ台の収納スペースを活用すれば、テレビで気になるものが出てきたとき、すぐに図鑑を開いて調べることができます。また、寝室に置いて寝る前に読む習慣をつくるのもおすすめですよ。

パパママの
お悩み

せっかく買ったのに、
子どもがあまり興味を
もってくれない……

何かを「調べる」
以外に図鑑を使う
方法ってあるの？

子どもの興味を引く 声かけアイデア

図鑑デビューしたばかりのお子さんや、図鑑が難しいと感じている場合には、「図鑑ゲームやってみない？」など楽しい提案をしてみましょう。遊び感覚で図鑑をめくりながら、さまざまな情報に触れることができます。まだ文字が読めないお子さんにもおすすめ！

見たことがあるものを探すゲーム

図鑑によく知っているものが出てきたら、その瞬間、お子さんにとって図鑑がぐっと身近な存在に感じられるはず。自分で見つけたときには達成感も味わえますよ。まずはお子さんの興味のあるテーマから始めてみましょう。

図鑑で
探して
みよう！

「テレビで見たことのある生き物、
いるかな？」

おすすめの図鑑
動物、恐竜



▶ ワンポイント

「〇〇はどれだ？」
など、クイズ形式で
出題しても楽しい！

「乗ったことのある
電車はどれ？」

おすすめの図鑑
鉄道、乗りもの

他にも…

- ・公園で見た花は？
- ・夕食で食べたのは？
- ・保育園で飼っている魚は？
- ・動物園にいた動物は？

など、身近なお題をどんどん
試してみましょう。

「家の近くにいる
生き物はどれ？」

おすすめの図鑑
昆虫、鳥、植物、
水の生き物

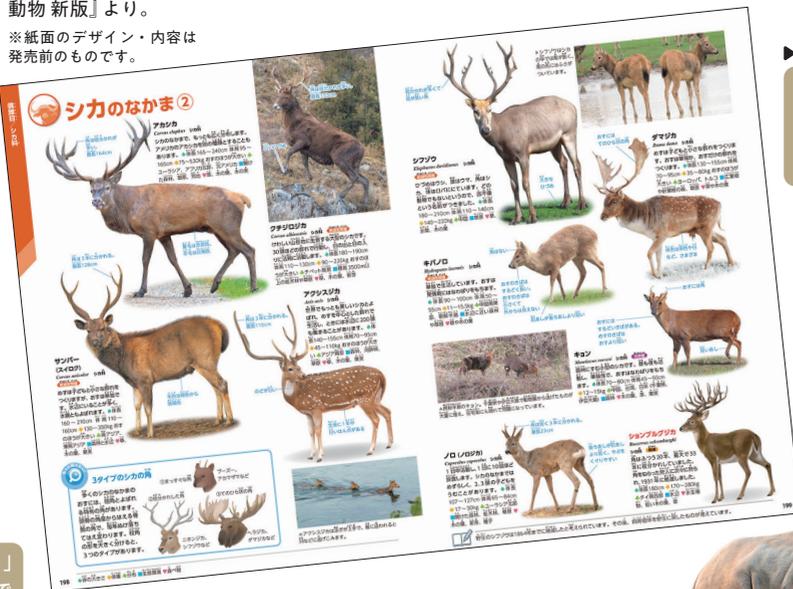


なかまを探すゲーム

「見たことがあるもの」を探せたら、次はもっと世界を広げてみましょう。色や形、見た目の特徴などのお題を決めて、「似たもの」を探す遊びです。探し終わったら、「どれが一番好き？」など感想を聞いてみてください。図鑑の中で好きなものを見つけることにもつながります。

↓『学研の図鑑 LIVE
動物 新版』より。

※紙面のデザイン・内容は
発売前のもです。



▶ ワンポイント

お子さんが作業に熱中できれば、探す間はひとり遊びでもOK。見つけた「なかま」のページに付箋を貼っておけば、後から一緒に振り返ることができます。

図鑑で
探して
みよう！

「角がある動物を
探してみよう」

おすすめの図鑑
動物、危険生物

「動物の角」と一口に言っても、長さや形もさまざま。たくさん見つけたら、「どれが格好いいと思った？」と質問しながら、お子さんのお気に入りと一緒に探してみよう。

「赤い花を
20個見つけよう」

おすすめの図鑑
植物

見た目も華やかな植物は、「色」をテーマに探するのが楽しい！ 具体的な目標数値を設定しても、ゲームが盛り上がります。



先生の
アドバイス

ワクワクしながら図鑑を読めば、ぐんぐん知識が伸びます

「楽しい！」という意識をもって覚えたことは、記憶に残りやすく、知識として身につきます。ワクワクしながら図鑑を読めば、知的好奇心が刺激され、子どもはひとりでに知識を増やしていくでしょう。そのきっかけとして、クイズやゲームは効果的です。さらに、「白いチョウを探してみよう→春に見られるものは？」など、徐々にレベルを上げていくことで探求心を伸ばすことができます。



パパママの
お悩み

うちの子、ティラノサウルスの
ページばかり眺めているのよ
ね。他のページにも興味をも
たせたいのだけど……

どうせ図鑑を読む
なら、学校の勉強
にも役立ってくれる
といいなあ

“かしこい子”を 育てる図鑑の読み方

お子さんが図鑑に親しんできたなら、**一步踏み込んだ図鑑の読み方**をうながしてみましょう。むずかしいことはありません。ちょっと声かけを工夫するだけで、ぐんぐん好奇心が広がり、**科学的な視点で図鑑を読める子**になりますよ。

ティラノサウルスの
歯はどんな形？

えっとね～



興味をもったものを 観察しよう

はじめは特定のものしか興味がなくても、大丈夫！まずは興味をもったものを眺めるだけでなく、**図鑑の写真や情報をよく見て、観察する**ようにながしてみましょう。

質問をする

おうちの人からいろいろな質問を投げかけることで、「しっかり見てみよう」という気になり、観察の視点が自然と身につきます。

たとえば、ティラノサウルスが好きなら…

- ・大きさはどのくらいかな？
- ・どんな場所に住んでいたのかな？
- ・何を食べていたのかな？

慣れてきたら、一から説明してもらっても◎

- ・ティラノサウルスって、どんな恐竜なの？ ママに教えて。など

ワンポイント

答えられたら、しっかりほめてあげましょう。自己肯定感が高まり、もっと知りたい！と思うようになります。

絵を描いてもらう

絵を描くことが好きなお子さんには、図鑑の写真を描きうつすようながすのもおすすめ。「よく見てうつす」という動作が、観察力アップにつながります。

ワンポイント

描いた絵がたまったら、たばねても◎世界にひとつ、お子さんのオリジナル図鑑ができ、思い出にもなりますよ。



テーマを決めてくらべてみよう

お子さんが“お目当て”を図鑑で見つけたら、そのまわりの情報も見て、**複数の物や生き物をくらべる**ようにながしてみましょう。**テーマを決めてくらべると**取り組みやすく、同じ点・違う点に気づきやすいですよ。

くらべるポイント、いろいろ

テーマによっていろいろな切り口があります。最初は「大きい」「小さい」など、お子さんがぱっと見てわかりやすい切り口からはじめるとよいでしょう。



食べ物

- ・肉食
- ・草食
- など

形

- ・恐竜の歯の形
- ・動物の角の形
- など

場所

- ・生き物の生息地
- ・花の咲く場所
- など

大きさ

- ・生き物の大きさ
- ・電車の長さ
- など



色

- ・花の色
- ・魚の色
- など



季節

- ・花の咲く季節
- ・星座の見える季節
- など



周辺情報に興味をわく ような声かけ

たとえば、「ミヤマクワガタが好き！」というお子さんなら、こんな声かけをして興味をゆさぶってみるのがおすすめです。

- ・いちばん大きい（いちばん小さい）クワガタムシはどれかな？
- ・日本にしかないクワガタムシはどれかな？
- ・クワガタムシのなかまって、ほかにもいるのかな？ など

ワンポイント

図鑑の読み方がわかるようになれば、いずれば声かけなしでも、お子さん自身で基準を決めて読めるようになるでしょう。



瀧先生の アドバイス

幼少期から“科学的に見る目”を育てましょう！

対象を詳しく観察し、他と比較すること。これらは簡単にできますが、**決してあなどれない科学の第一歩**です。声かけをするときは、徐々に質問のレベルを上げていきましょう。知的好奇心が高まり、科学的な見方が身についていきます。また、学校のテストや受験では、魚のひれや虫のあしを正しく描く問題が出題されることも。興味をもって観察する力は、学校の成績にもつながるのです。



パパママの
お悩み

大好きな昆虫以外にもいろいろ
なテーマに興味をもってほしい
けど、やり方がわからない

図鑑で知ったことを
体験できる場がある
といいんだけど

自然体験に出かけよう!

図鑑で名前を覚えた生き物を外に出て観察したり、逆に外で出会った生き物を家に帰って図鑑で調べたり。図鑑と自然体験のよいサイクルができると、お子さんの好奇心は無限大に広がっていきます。



動物園や博物館は、見どころたっぷり

お休みの日に少し遠出をするなら、「園」や「館」がおすすめ。その分野に特化した豊富な情報量で、お子さんの興味の幅が一気に広がります。

動物園、
水族館、
植物園

ふだんは会えないめずらしい生き物に出会ったり、触れ合えたりします。写真からはわからない生き物の生の動きや鳴き声を観察しましょう。

おすすめの図鑑
動物、危険生物、
魚、植物

博物館、
科学館

博物館には、大昔に恐竜が生きた証である化石が。科学館の中にはプラネタリウムや、望遠鏡で星を観察できる施設も。遠くて手が届かない存在も、展示を通じて身近に感じられます。

おすすめの図鑑
恐竜、宇宙、
星と星座、人体

家のまわりには、体験できる場所がいっぱい

家の庭で遊んだり、公園にさんぽに出かけたり。まずはふだんの生活の中に、図鑑と自然体験を取り入れることから始めましょう。

近くの
公園



おすすめの図鑑
昆虫、植物、
星と星座、鳥



家の庭、
ベランダ

虫や花は、庭やベランダのプランターでも観察することができます。また、家の窓から夜空を見上げれば、目立つ星や星座が見つかります。

公園では、たくさんの虫や花、身近な鳥たちに出会えます。好きな昆虫が花にとまっているのを見つけたときに、「この花はなんて名前なんだろう」などの声かけをすれば、昆虫を通じて植物にも興味を広げるきっかけになります。

おすすめの図鑑
昆虫、植物、
星と星座

駅や道

電車好きのお子さんにとって、駅はおすすめの体験スポット! 親子で電車に乗って近くの駅に行ってみてもいいですね。電車だけでなく、駅で働く人のようすを見るのも学びにつながります。

おすすめの図鑑
鉄道、乗りもの



3

海や山は、発見いっぱいの自然の宝庫

連休などに、家族で登山やキャンプに行くのもおすすめです。図鑑の世界が飛び出したような大自然の中では、忘れられない自然体験ができるでしょう。

海、山、
川



家のまわりにはいない昆虫や植物、魚などに会えることでしょう。空気の澄んだ山間部では、満天の星が見える日も。夜は天体観測を楽しんでもいいですね。

おすすめの図鑑
昆虫、植物、魚、
星と星座、鳥、動物

ワンポイント

見つけたものの写真をスマートフォンなどで撮っておくと、思い出になり、あとから図鑑で調べられるのでおすすめ!



瀬先生's
アドバイス

実体験とひもづけることで、「もっと知りたい!」につながります

外で生き物と出会ったとき、その生き物のことを少しでも知っていれば、興味が高まり「もっと知りたい!」と思うものです。図鑑で知識を得たら、ぜひ親子で外へ出かけましょう。五感で得た体験は、忘れられない感動を呼び、さらなる「好き」や「知りたい」につながります。自然の中だけでなく、プラネタリウムや水族館などの施設もおすすめ。特別な体験ができ、知的好奇心が広がるでしょう。



図鑑を好きになると、 いいこといっぱい!

親御さんの中には、子どものころハマっていたヒーローや恐竜の名前を今でも覚えている……という人も多いのではないのでしょうか? 幼い頃の楽しい経験は、一生を築く大切な土台になります。お子さんの“生きる力”を育てる図鑑の効果を見ていきましょう。

学ぶことが 好きになる!

「あれは何?」「これは何?」と好奇心でいっぱいの幼児期。図鑑で調べて「**名前のわからなかったものがわかった!**」という体験を通じて、**好奇心が満たされ、達成感を味わうことができます。**また、「●●はすごいね」「物知りだね」とまわりの大人にほめられれば自信につながり、「もっと知りたい!」と学ぶことへの意欲が湧いてきます。

自分で考える 力が身につく

図鑑を読み込むようになると、「なぜ?」「どうして?」とわからないことが出てくるかもしれません。**この“疑問をもつ”**ということは、**自分で考えることの第一歩。**本に書いてあることを受け止めるだけではなく、そこから自分なりの考えを持ち、興味関心を広げていけるようになります。



瀧先生's
アドバイス

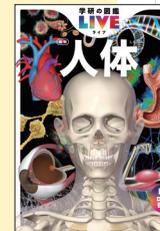
図鑑×好奇心で“一生もののスキル”が身につきます

図鑑で知的好奇心を伸ばすことは、勉強や仕事で専門性の高いスキルを身につけることに直結します。「もっと見たい、知りたい」という知的好奇心には、「困難を伴ってでも成し遂げたい」という気持ちが含まれます。珍しい昆虫を探するために遠出したり、鳥を観察するために粘り強く待ったり……ワクワクのために困難を乗り越える力は、勉強や仕事にも通用します。図鑑は、楽しみながら自己実現をするための、身近にして最強のツールなのです。



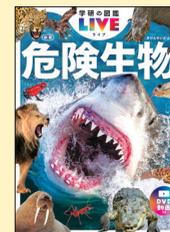
熱中できる ものが見つかる

図鑑を通じて夢中になれるものが見つかったら、ワクワク体験のはじまり。「本物を見たい」「触れてみたい」そんな欲求が湧いてきて、「**どうしたらカブトムシを見つけられるのか**」など目標を見つけて達成する過程は大きな感動体験になるでしょう。**子どもの頃の楽しい記憶は、大人になっても心に残る、大切なものです。**



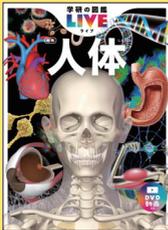
人生の選択肢が 広がる

将来の進路を決めるとき、子どもの頃に好きだったものを思い出す人が多いのではないのでしょうか。実際に「学研の図鑑を読んで、科学の最前線に立つようになった」という研究者もたくさんいます。図鑑で広い世界を知り、**未来の選択肢が広がる——たった1冊の本が、人生を豊かにする可能性も秘めているのです。**



3歳から大人まで、ずっと使える本格図鑑

学研の図鑑 **LIVE** ライブ



全24巻好評発売中

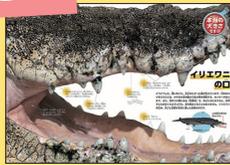
- 全巻DVDつき!
- 新版はDVD+動画配信つき!
- ・A4変型判 ・オールカラー
- ・各192～316ページ

以降続刊

ビジュアルがすごい!

大迫力・高精細な写真とイラストで、生き生きとした姿を伝えます。

▶『危険生物 新版』の本当の大きさページ。



収録種数 No.1!*

最新種から人気の種まで、収録種数はDVDつき学習図鑑の中でもトップクラス!

▶『昆虫 新版』では約2800種の生きた昆虫を掲載!



※2024年5月時点
／学習図鑑比較(学研調べ)

軽くて安心のつくり

ページの角が丸くて安心! 紙は従来比89%の軽さになりました。

▶ページの角は丸く加工。



楽しいオリジナル動画

新版シリーズの動画は、スマートフォンやタブレットでどこでも見られます。

▶『恐竜 新版』ではオリジナルソングを収録。



自然体験のお供に!

学研の図鑑LIVEポケット



- ・新書判 ・オールカラー
- ・各192～240ページ

クイズがたっぷり100問!

学研の図鑑LIVEクイズ



- ・文庫判 ・オールカラー
- ・208ページ

お子さんにぴったりの図鑑を探すなら

学研の図鑑 WEB

<https://zukan.gakken.jp/>

学研の図鑑 LIVE

